

2018年7月

## グリーンボンドの発行支援表明について

ゴールドマン・サックスは、2005年11月に「環境ポリシーの枠組み」を制定し環境問題への積極的なコミットメントを表明しました。2012年には、10年間で世界中のクリーンエネルギーに400億ドルの投融資を行うことを発表。その後わずか4年で当初の目標を達成し、2015年11月には新たな目標として2025年までに1,500億ドルを世界中のクリーンエネルギーに投融資することを明確にしております。これらの取組を通じ、ゴールドマン・サックスは環境への配慮に努め、持続可能な社会の発展を目指してまいりました。

グリーンボンドは、パリ協定により合意された「2℃目標」の達成に向けた温室効果ガスの大幅削減、及び持続可能な開発目標（SDGs）に掲げられた気候変動対策、循環型社会の構築、生物多様性の保全への取組等、持続可能な社会の形成に向けた取組に大きく貢献するものです。ゴールドマン・サックスは、グリーンボンド原則を支持し、世界中でグリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドのストラクチャリングおよび引受にコミットしております。

日本でもクリーンエネルギーの普及に貢献し、低炭素社会の実現に寄与すべく、日本初の「グリーンプロジェクトボンド」をアレンジし、再生可能エネルギー事業の資金調達に画期的な手法を導入しました。2013年9月に第一号案件を組成して以来、24発電所に対しグリーンプロジェクトボンド信託を組成し、我が国における再生可能エネルギーの普及に寄与してまいりました。

ゴールドマン・サックスは、我が国のグリーンボンド市場の拡大に向け、国内におけるグリーンボンドの発行及び投資を促進するための支援に積極的に取り組むことを表明します。

ゴールドマン・サックス証券株式会社